

～令和3年度 第1回 江府町学校運営協議会～

5月25日、令和3年度第1回の学校運営協議会が行われました。この回では小中学校の評価における



重点目標の評価指標について、両校長より説明を聞き、後半は部会に分かれて今後の活動予定について話し合いました。

コミュニティ・スクール2年目となる今年度は、前年の実績や反省を基に、江府町ならではの特色を生かしつつ「地域とともにある学校」を皆さんでつくりあげていきます。地域の皆さんからの協力やアイデアも引き続き大募集しておりますので、ぜひ学校運営協議会にお声掛けください。

今年度の委員の皆さんは、以下の通りです。

	氏名(敬称略)	所属
1	井上 廉女	地域代表(江尾地区)
2	小椋 和美	地域代表(米沢地区)
3	井上 裕吉(副会長)	地域代表(明倫地区)
4	宮本 正啓(会長)	地域代表(俣野地区)
5	高津 亮二	江府町青年団
6	遠藤 真吾	江府町観光協会
7	船越 寛明	青少年育成江府町民会議
8	藤原 眞輝	地域学校協働活動推進員
9	川端 陸嗣	保護者代表(保育園)
10	白川 達也	保護者代表(小学校)
11	山本 美穂	保護者代表(中学校)
12	瀬尾 美佐子	江府小学校 校長
13	竹内 貴美	江府中学校 校長

日野川のこいのぼり 中学生ボランティア

5月の下旬、夜振橋と久連橋に上がるたくさんのこいのぼり。今年は学校運営協議会 健全育成部のアイデアで、江府中学生に設置と撤去のお手伝いを募集したところ、2日間で総勢24名の生徒・先生方が参加してくれました。



設置時は風が強く、飛ばされそうになりながら必死でこいのぼりを上げ、撤去時は重い支柱を肩に担いで何度も運び、どちらも大変な作業でしたが、笑顔で「楽しい」という生徒達。こいのぼりを上げるのは初めてという生徒もいて、要らなくなった金具を記念に持って帰る姿もありました。周りの大人達に教わりながら、参加した生徒全員が最後まで一生懸命頑張ってくれました。

運営協議会では、江府町のイベントに江府中学生がお手伝いとしてボランティア参加する機会を引き続きつくっていく予定です。



小学校 ウラヤマ整備 大作戦！

学習・行事支援部が協力して構想した、小学校のウラヤマ（校庭横の法面スペース）の整備。6月12日の土曜早朝に、学校・PTA・学校運営協議会が一体となって取り組みました。当日は雨模様でしたが、保護者を含む大人と子ども合わせて51名と、多くの方が参加しました。

整備計画は保護者でもある土木のプロに相談して立て、資材は地元企業の協力によりご寄付いただきました。簡単な作業の「親子コース」と溝づくりなど力のある「本気コース」に分かれ、雨の中40分程の作業で、今までなかった道が出来、水の染み出す箇所には水の流れる道と泥受けが出来、段差の大きい所には簡単な階段が出来上がりました。

週明けは今まで立入禁止だったウラヤマ解禁！さっそく子ども達が元気に駆け回っていました。整備については今後も定期的に行い、子どもにとってより良い遊び場になるような取組を続けていきたいと話しています。



ここでも そこでも「ながら見守り」

昨年度から実施している「ながら見守り」活動の、令和3年度第1回となる強化期間を実施しました。朝、各集落のバス停付近では、登校する児童生徒のバスを見送る保護者や地域の方の姿が多く見られました。また、家の中から手を振って見送られる方や、ウォーキングのついでにしばらく一緒に歩く方もいらっしや、強化期間に関係なく日常的に見守りをしていらっしやる様子が見て取れました。

専用名札は今回より設置個所を7か所に増やして用意しています。新しく「江尾郵便局」、ひきつづき「えんちゃん」にもご協力いただいております。名札無しでももちろん見守りは可能ですが、活動の際にはぜひご活用ください。



コミュニティ・スクールってなに？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置し、地域と学校が連携して「地域とともにある学校」づくりを進めている学校のことをいいます。

江府町では、小・中学校合同の1つの協議会とし、9年間の子供達を町全体で見守り育てていく形としました。令和2年度4月より、江府町でもコミュニティ・スクールがスタートしています。

江府町学校運営協議会では、「めざす子ども像」を下のように設定しています。

【めざす子ども像】

ふるさとに夢を描き、
まち・ひと・みらいとつながる江府っ子

- 思いやりと優しさを持ち、
明るい笑顔で人とかかわれる子
- たくましくしなやかな心と体を持ち、
のびのびと自己を表現できる子
- ふるさとの自然と文化を愛し、
ふるさとを大切にする子

